平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月9日

上場会社名　株式会社 田中化学研究所　　上場取引所　大
コード番号　4080　URL　http://www.tanaka-chem.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役　社長執行役員　(氏名) 田中　保
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 小林　芳彰　TEL 0776-85-1801

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,670	△30.9	△649	―	△700	―	△749	―
23年3月期第3四半期	12,555	8.2	225	△39.0	183	△46.3	131	△52.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△59.27	―
23年3月期第3四半期	10.39	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	15,584	6,046	38.8
23年3月期	17,723	6,896	38.9

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　6,046百万円　23年3月期　6,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	8.00	8.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△32.6	△1,100	―	△1,200	―	△1,200	―	△94.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	12,650,800 株	23年3月期	12,650,800 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	949 株	23年3月期	949 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	12,649,851 株	23年3月期3Q	12,649,889 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第３四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当社の販売数量は98%以上を二次電池用正極材料が占めており、同電池市場への販売動向が当社の業績に大きく影響いたします。

当第３四半期累計期間における当社の二次電池向け正極材料の販売数量は、前年同期比で18.3%減少しました。

リチウムイオン電池分野では、海外経済の減速やスマートフォン及びタブレットＰＣなど新しいアプリケーションの需要台頭により、当第２四半期半ばから当社の主力製品である三元系（ニッケル・コバルト・マンガン複合酸化物）の主要用途であるノートパソコン市場は回復の兆しが見えず、二次電池メーカー各社は円筒型リチウムイオン電池の生産調整・在庫圧縮を継続しております。

また、ノートパソコン向けを中心とした円筒型リチウムイオン電池の価格は、二次電池メーカー間の激しいシェア争いにより下落傾向は継続しており、同メーカー各社の同電池向け正極材料など、電池材料の低価格志向がさらに強まった結果、当社製品と新興国を中心としたメーカーの製品との競合も激しく、当社の受注量に影響を与えております。

この結果、当第３四半期累計期間における三元系製品の販売数量は、前年同期比で27.0%の減少となりました。

ニッケル水素電池分野では、民生分野におけるリチウムイオン電池へのシフトや円高の影響による輸出の不振により、当第３四半期累計期間における同分野向け正極材料の販売数量は、前年同期比で29.8%の減少となりました。一方で、環境対応車向け正極材料は東日本大震災からのサプライチェーンの回復後、当第３四半期も高水準の受注が継続し、当第３四半期累計期間における同対応車向け正極材料の販売数量は、前年同期比で41.9%増加しました。

この結果、ニッケル水素電池向け正極材料の当第３四半期累計期間における販売数量は、前年同期比で0.7%の減少となりました。

以上の結果、売上高8,670百万円（前年同四半期比30.9%減）、営業損失649百万円（前年同四半期は営業利益225百万円）、経常損失700百万円（前年同四半期は経常利益183百万円）、四半期純損失は749百万円（前年同四半期は四半期純利益131百万円）となりました。

恒常的な円高水準による海外市場での当社製品と海外製品との競合や当社の販売先である二次電池メーカー間のシェア争いなどに起因する当社製品の受注量への影響は、当第４四半期も継続するものと見られます。

二次電池正極材料市場は、同市場への新規参入や二次電池メーカーのグローバル市場での競争の激化など、市場環境は厳しさを増してきておりますが、環境対応車や携帯型情報端末など新たな用途での需要の増加により、将来の市場拡大が見込まれております。当社は固有のコア技術を基盤とする研究開発型企業として、引き続き精力的に取り組んでまいります。

(ご参考)

(ニッケル国際相場：円換算)　（単位：円／ｋｇ）

	４～６月平均	７～９月平均	10～12月平均	１～３月平均
24年３月期	2,012	1,742	1,435	－
23年３月期	2,093	1,840	1,975	2,242
22年３月期	1,269	1,676	1,590	1,830

(コバルト国際相場：円換算)　（単位：円／ｋｇ）

	４～６月平均	７～９月平均	10～12月平均	１～３月平均
24年３月期	3,349	2,971	2,599	－
23年３月期	4,447	3,843	3,448	3,653
22年３月期	3,326	3,947	3,956	4,411

※　ニッケル　LME（ロンドン金属取引所）月次平均×TTS月次平均
　　コバルト　LMB（ロンドン発行メタルブリテン誌）月次平均×TTS月次平均

（２）財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末における総資産は前事業年度末比2,138百万円減少し、15,584百万円となりました。その主な要因は現金及び預金が673百万円増加した一方、売上債権が592百万円、有形固定資産が1,807百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末比1,289百万円減少の9,538百万円となりました。その主な要因は借入金が4,422百万円増加した一方、設備関係支払手形が3,508百万円、仕入債務が1,402百万円減少したことによるものであります。

なお、純資産は前事業年度末比849百万円減少の6,046百万円となり、自己資本比率は38.8%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して673百万円増加し、当第３四半期会計期間末における資金は、1,957百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、127百万円の減少（前年同四半期は2,480百万円の増加）となりました。これは主に減価償却費1,091百万円に対し、税引前四半期純損失713百万円、運転資本の増加による資金の減少363百万円があったためであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、3,524百万円の減少（前年同四半期は1,039百万円の減少）となりました。これは主に設備投資を中心とする有形固定資産の取得による支出5,387百万円に対し、補助金の収入1,863百万円があったためであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、4,321百万円の増加（前年同四半期は1,275百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の減少400百万円、長期借入金の期日弁済507百万円に対し、長期借入金の増加5,330百万円があったためであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年５月12日に公表いたしました平成24年３月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成23年10月25日に発表しております「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,284,137	1,957,420
受取手形及び売掛金	1,933,012	1,340,366
商品及び製品	751,668	376,810
仕掛品	742,163	653,574
原材料及び貯蔵品	212,329	229,945
その他	103,096	142,690
流動資産合計	5,026,408	4,700,807
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,082,428	1,852,070
機械及び装置（純額）	3,639,298	3,167,936
建設仮勘定	5,964,184	3,845,163
その他（純額）	1,615,862	1,628,878
有形固定資産合計	12,301,774	10,494,048
無形固定資産	50,078	37,202
投資その他の資産		
その他	345,710	353,227
貸倒引当金	△451	△451
投資その他の資産合計	345,259	352,776
固定資産合計	12,697,111	10,884,026
資産合計	17,723,520	15,584,834
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,968,150	1,565,963
短期借入金	500,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	733,200	2,033,000
未払法人税等	12,169	6,205
引当金	101,480	43,872
その他	5,174,505	912,320
流動負債合計	9,489,505	4,661,361
固定負債		
長期借入金	1,008,700	4,531,000
引当金	142,323	163,165
その他	186,626	182,560
固定負債合計	1,337,649	4,876,725
負債合計	10,827,154	9,538,087

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,086,246	2,086,246
資本剰余金	2,703,889	2,703,889
利益剰余金	2,036,259	1,185,251
自己株式	△1,982	△1,982
株主資本合計	6,824,411	5,973,403
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	71,953	73,343
評価・換算差額等合計	71,953	73,343
純資産合計	6,896,365	6,046,747
負債純資産合計	17,723,520	15,584,834

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	12,555,245	8,670,818
売上原価	11,262,363	8,081,420
売上総利益	1,292,881	589,397
販売費及び一般管理費	1,067,517	1,238,861
営業利益又は営業損失（△）	225,364	△649,463
営業外収益		
受取配当金	2,556	2,717
保険配当金	2,272	2,455
その他	12,540	5,722
営業外収益合計	17,370	10,895
営業外費用		
支払利息	32,525	42,587
コミットメントフィー	18,091	12,749
その他	8,120	6,820
営業外費用合計	58,738	62,157
経常利益又は経常損失（△）	183,996	△700,725
特別利益		
補助金収入	314,798	1,866,164
特別利益合計	314,798	1,866,164
特別損失		
固定資産除却損	36,832	10,059
固定資産圧縮損	279,584	1,848,414
その他	24,909	20,911
特別損失合計	341,327	1,879,385
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	157,467	△713,946
法人税、住民税及び事業税	4,053	4,049
法人税等調整額	22,039	31,812
法人税等合計	26,093	35,862
四半期純利益又は四半期純損失（△）	131,373	△749,809

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	157,467	△713,946
減価償却費	1,305,518	1,091,451
引当金の増減額（△は減少）	△33,086	△36,765
固定資産除却損	36,832	10,059
固定資産圧縮損	279,584	1,848,414
補助金収入	△314,798	△1,866,164
売上債権の増減額（△は増加）	912,591	592,645
たな卸資産の増減額（△は増加）	294,693	445,831
仕入債務の増減額（△は減少）	△296,375	△1,402,187
その他	161,054	△81,452
小計	2,503,481	△112,114
利息及び配当金の受取額	2,733	2,809
利息の支払額	△28,078	△15,401
法人税等の支払額	△3,861	△5,319
補助金の受取額	6,000	2,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,480,274	△127,626
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,348,533	△5,387,962
補助金収入	308,798	1,863,764
その他	360	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,039,374	△3,524,148
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△300,000	△400,000
長期借入れによる収入	－	5,330,000
長期借入金の返済による支出	△874,900	△507,900
配当金の支払額	△100,657	△100,334
その他	△54	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,275,612	4,321,765
現金及び現金同等物に係る換算差額	639	3,293
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	165,927	673,283
現金及び現金同等物の期首残高	1,571,081	1,284,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,737,008	1,957,420

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。